

2021年（令和3年）11月 1日

藤沢市長

鈴木恒夫様

藤沢市下水道運営審議会
会長 杉 渕 武

今後の下水道事業における整備と運営のあり方について（答申）

「下水道ビジョンの見直しについて」

2020年（令和2年）11月25日付にて、今後の下水道事業における整備と運営のあり方について、藤沢市長から本審議会に対し諮問がありました。諮問の主な内容は、下水道ビジョンの見直し、及び今後の下水道使用料のあり方を踏まえた事業収支計画（「中・短期経営計画」）の策定の大きく2つの具体的内容になります。

本審議会は、諮問の趣旨に添って、これまで6回にわたる審議会において審議を行った結果、諮問事項のうち、長期の事業運営方針である「ふじさわ下水道ビジョン（案）」について、次のとおり答申します。

なお、留意されるべき事項を附帯意見として申し添えます。

1 「ふじさわ下水道ビジョン（案）」について

本市の下水道は、2011年に下水道の整備方針と将来を見据えた経営方針となる「湘南ふじさわ下水道ビジョン」を策定して以降、各施策の実施により、効率的かつ効果的な事業運営が遂行されてきました。

その一方で、市民の暮らしを支える下水道施設の急速に進む老朽化への対処や気候変動による自然災害の激甚化への対処、あるいは人口減少等から想定される下水道使用料の減収などの事業運営課題がさらに深刻化していることが明らかになりました。これらの課題の解決に向けては、新たな視点による中長期事業運営方針のもとで、公営企業として経営の健全性を維持しつつ、将来にわたって下水道のサービスの提供を持続していく必要があることから、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」を見直し、審議会の総意として「ふじさわ下水道ビジョン（案）」を取りまとめました。下水道ビジョンの要点は次のとおりです。

(1) 計画期間

本ビジョンの計画期間は、今後の人口動向などを踏まえて2023年（令和5年）から2042年（令和24年）までの20年間としています。

(2) 改定方針

改定にあたっては、今後の下水道の20年先を見据え、「これからの下水道の役割」と「課題解決の方向性」を踏まえたうえで、ビジョンの理念、方針、施策を定めています。

このうち、「これからの下水道の役割」については、「社会・経済情勢の変化」や「下水道に求められる役割の変化」、「市民ニーズ」などの観点から、4点に整理しています。

また、「課題解決の方向性」については、旧ビジョンにおいて設定されていた11の基本方針を、これからの下水道整備・運営方針に関わる重要な9つの領域に再構成したうえで、新たな課題に対処するため、この9つの領域ごとに国の政策動向や市の取組状況等を整理し、その課題解決へ向けて方向性を整理しています。

(3) ビジョンの構成

本ビジョンは、基本理念、基本方針及び施策によって構成しています。

(4) 基本理念

本市下水道事業のあるべき理想や思い、根本的な考え方を示すものである基本理念については、

「湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道」

として、旧ビジョンにおける基本理念を継承しつつ、「これからの下水道の役割」と「課題解決の方向性」を踏まえて定めています。

(5) 基本方針

基本理念を具現化するために進むべき方向を示すものであり、旧ビジョンにおいて設定していた基本方針を再構成したうえで、「これからの下水道の役割」と「課題解決の方向性」から4つのテーマ別に基本的な方針を定めています。

(6) 施策

基本方針ごとに体系化した具体的な取組の方向性であり、具体的に取り組む計画や戦略などを15の施策として設定しています。

(7) 推進方策

施策を推進するにあたっての共有すべき視点や考え方であり、ビジョンを実現するために、4つの考え方を定めています。

以上のとおり、本審議会は昨年11月から下水道ビジョンについて、基本理念から施策、推進方策に至るまで担当部局が整理した資料等に基づき、慎重かつ丁寧に審議を進めた結果、未来を見据えた藤沢市の下水道の考え方を明らかにした「ふじさわ下水道ビジョン(案)」を長期の事業運営方針として、適切であると考
えます。

2 附帯意見

(1) 市民理解の充実

本ビジョンの策定に向けては、本審議会のみならず幅広い下水道利用者の様々な意見・要望を募り、十分に理解が得られるよう特段の配慮をするとともに、その際には市民に分かりやすい表現を使用するなど、一層の工夫が図られることを要望します。

(2) 「ふじさわ下水道ビジョン」の実現に向けて

本ビジョンの実現に向けては、基本方針を具現化させる施策や事業を実施するために、中期的な経営計画である「ふじさわ下水道中期経営計画」と短期的な実行計画である「ふじさわ下水道短期経営計画」を策定する必要があります。この二つの計画の具体的内容にはビジョンの考え方を適切に反映することを要望します。

さらに二つの経営計画の実効性を高めるために、現状の課題の一層の究明、現場の視点を踏まえた新しい技術のさらなる研究と活用、下水道使用料のあり方や様々なリスクを視野に入れた投資と効果のバランスを考えた下水道経営のさらなる追求を要望します。

以 上